

町田浮世絵  
プログラム 2017

## 明治維新から 150 年

## 浮世絵にみる 子どもたちの文明開化

Children's World Depicted in Ukiyo-e of the Meiji Period

いまから 150 年前、日本は文明開化の時代を迎えました。  
この展覧会では、明治の新風と江戸の面影のはざままで遊び、学ぶ子どもたちの姿を、  
当時の浮世絵を通して見つめます。



(1)

浮世絵に描かれた子どもの姿に注目すると、その小さなからだをとおして時代の空気を伝えてくれるものに数多く出会います。明治時代の浮世絵には、文明開化によって社会そのものが変化するなか、純粹さを失わず、力いっぱい生きる子どもたちの姿が描かれています。

西洋の影響を受けて学校教育がはじまった明治初期、浮世絵には洋服を着て学校で学ぶ子どもたちが登場します。ここには、当時の子ども観や理想像が映し出されているといえるでしょう。英単語や西洋の偉人伝が記された浮世絵も制作され、世界へ目を向け立身出世を目指す若き人びとの学習教材ともなりました。一方で、まだ街の裏通りには江戸の香りが残っていた時代。明治半ばより江戸懐古の風潮が高まると、どこか懐かしく愛らしい着物姿の子どもたちが浮世絵にも戻ってきます。明治生まれの絵師、宮川春汀みやがわしゅんていや山本昇雲やまもとしょううんらは、江戸に花開いた遊びの文化を受け継ぐ子どもの姿を繊細に描き、人気を博しました。昔ながらのおもちゃ絵も引き続きつくれ、いつの世も子どもたちの心をつかむ玩具であり続けました。

本展では、文明開化の新風と江戸の面影のはざままで遊び、学ぶ子どもたちの姿を約 300 点の浮世絵と資料を通して見つめなおします。明治の子どもたちの視覚世界がいかにかに色彩に溢れていたかをご覧ください。だくとともに、今も変わらない、成長を見守る大人たちの眼差しを感じていただければ幸いです。

**会期** 2017 年 10 月 7 日 (土) ~11 月 23 日 (木・祝)**会場** 町田市立国際版画美術館 企画展示室 1、2冒頭画像：(1) 肉亭夏良にくていかりょう「訓童小学校教導之図」明治 7 年 (1874)、公文教育研究会蔵

## 本展のみどころ

### ①明治の「子ども浮世絵」を取り上げる珍しい試み！

子どもをモチーフとした浮世絵は近年注目を集めており、江戸時代には喜多川歌麿や歌川国芳らが手掛けたことで知られます。このたび、公文教育研究会と玉川大学教育博物館の特別協力のもと、明治時代に描かれた愛らしくカラフルな子ども浮世絵の数々をご紹介します。明治の子どもと浮世絵をテーマにした大規模な展覧会としては、初めてとなる試みです。

### ②子どもたちが楽しめる仕掛けが盛りだくさん！

展示室にはわかりやすい作品解説のほか、触って遊べる「明治のおもちゃ」体験コーナーを用意します。また明治のおもちゃのワークショップやおはなし会など、子どもも大人も楽しめるイベントもいっぱい。ぜひ、現代の私たちと明治の子どもの遊びを体験して比べてみてください！

## 町田浮世絵プログラムとは？

2017 年から 2020 年にかけて、毎年新しいテーマで浮世絵展を開催し、町田から浮世絵の魅力を発信することを目的としたプログラムです。今後の展開にもご期待ください！



(2)

## 内覧会のご案内

一般公開に先立ち、下記のとおり内覧会を開催いたします。ご多用とは存じますが、ぜひご出席賜りますようご案内申し上げます。報道関係の皆様のご出席をお待ちしております。

**日時：10月5日（木）15：00～17：00**

**会場：町田市立国際版画美術館**

\*展覧会初日の2日前です。日時にご注意ください。

## 画像データ・プレゼント用招待券について

展覧会広報用に本プレスリリース掲載の画像データ、およびプレゼント用招待券を用意しております。ご利用いただける際は、最後に記載した問い合わせ先までご連絡ください。（画像データの場合は、ご希望の画像番号をお知らせください。）

(2) やまもとしょうろうん 山本昇雲「今すがた 花やしき」明治42年（1909）、町田市立国際版画美術館蔵

## 展示構成

### 1章 文明開化の音がする

新しい“東京”の街並みから英語学習まで、浮世絵に見られる文明開化の諸相を辿ります。



(3)



(4)

#### サーカスがやってきた！

(3) 五代歌川国政「伊太利亜国チャリネ世界第一大曲馬遊覧之図」  
明治 22 年（1889）、公文教育研究会蔵

#### 浮世絵にも英語ブーム到来

(4) 昇齋一景「リードルおしえぐさ」  
明治 5 年（1872）、公文教育研究会蔵

### 2章 学校の誕生と教材になった浮世絵

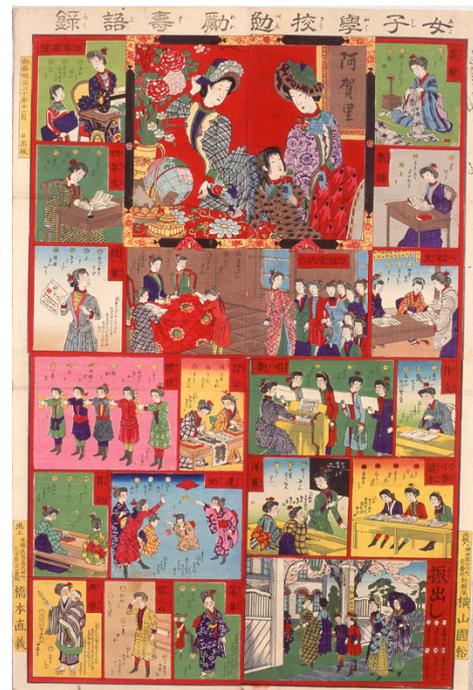
「学制」発布により学校が誕生すると、「教育錦絵」と呼ばれる浮世絵が教材として活躍しました。本章では実際に使用された教材や、学校生活を題材にした浮世絵や双六を紹介します。



(5)

#### カラフルな掛図で学ぶ明治の学校

(5) 肉亭夏良「児学 敬導単語之図 第一単語図」  
明治 7 年（1874）、玉川大学教育博物館蔵



(6)

#### 双六でたどる女子の学校生活

(6) 楊洲周延「女子学校勉勵壽語録」  
明治 20 年（1887）、玉川大学教育博物館蔵

### 3章 子どもたちへの眼差し—周延・春汀・昇雲—

明治に活躍した三人の個性あふれる浮世絵師<楊洲周延、宮川春汀、山本昇雲>による、愛らしい子ども絵の数々を紐ときます。明治の風俗を描きながらも、どこか懐かしい子どもたちの姿が見られます。



(7)

#### 楊洲周延 (1838~1912)

(7) 楊洲周延「真美人 十四」

明治 30 年 (1897)、町田市立国際版画美術館蔵



(8)

#### 宮川春汀 (1873~1914)

(8) 宮川春汀「小供風俗 子とり姥」

明治 29 年 (1896)、町田市立国際版画美術館蔵



(9)

#### 山本昇雲 (1870~1965)

(9) 山本昇雲「子供あそび とんぼ」

明治 40 年 (1907)、公文教育研究会蔵

## 4章 子どもの遊び大図鑑

動物たちが画面を埋め尽くす「ものづくり絵」や、工作できるおもちゃ絵、さらにはアニメーションの始まりであるゾートロープや子どもたちの夢を育んだ児童図書までを辿ります。



(10)

### にゃんと気持ちいい！

(10) 望齋秀月「新板ねこの温泉」

明治、公文教育研究会蔵



(11)

### 作って遊べるペーパークラフト！

(11) 二代長谷川貞信「極しんばん切組とう籠舌切雀桃太郎一代記（複製組立形）」

原本：明治 24 年（1891）、公文教育研究会蔵

## 開催概要

**展覧会名** 明治維新から 150 年 浮世絵にみる 子どもたちの文明開化

**会 期** 2017 年 10 月 7 日（土）～11 月 23 日（木・祝）＜41 日間＞

※足利市立美術館へ巡回（2018 年 7 月 14 日～9 月 2 日）

**休 館 日** 月曜日 ただし、10 月 9 日（月・祝）は開館、10 月 10 日（火）は休館

**開館時間** 平日 10：00～17：00（入場は 16：30 まで）

土日祝 10：00～17：30（入場は 17：00 まで）

**会 場** 町田市立国際版画美術館 企画展示室 1、2

**観 覧 料** 一般＝800（600）円、大・高生、65 歳以上＝400（300）円、中学生以下は無料

\*（ ）内は 20 名以上の団体料金。

\* 身体障がい者手帳、愛の手帳（療育手帳）または精神障がい者保健福祉手帳をご持参の方と付き添いの方 1 名は半額です。

\* 10 月 7 日（展覧会初日）と 11 月 3 日（文化の日）は入場無料です。

**主 催** 町田市立国際版画美術館

**特別協力** 公文教育研究会、玉川大学教育博物館

**企画協力** マンゴスティン

## 関連イベント

\* 詳細は当館 HP に更新します。⇒ <http://hanga-museum.jp/>

### ■記念講演会「浮世絵に描かれた母と子」

講師：藤澤紫

(國學院大學教授、国際浮世絵学会常任理事)

11月11日(土) 14:00~15:30

1階講堂にて\*先着120名\*要観覧券

### ■浮世絵の技に触れる一摺の実演とレクチャー

講師：株式会社 渡邊木版美術画舗

10月28日(土)

1回目11:00~12:30、2回目14:30~16:00

1階講堂にて\*各回先着120名\*要観覧券

### ■折ってつくろう おもちゃ絵ワークショップ

講師：COCHAE(遊びのデザインユニット)

11月4日(土)

1回目11:00~12:30、2回目14:30~16:00

1階講堂にて\*事前申し込み制\*要観覧券

### ■0歳からの美術館☆家族鑑賞会

講師：富田めぐみ

(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会)

11月15日(水)10:30~11:30\*事前申し込み制

保護者の方は当日有効の観覧券が必要です。

### ■一緒に遊んで、明治にタイムスリップ

講師：NPO法人子ども広場あそべこどもたち

10月14日(土)10:30~15:00

美術館前庭にて\*参加無料\*入退場自由

### ■美術館でおはなし会—絵本と語りの時間

講師：おはなしはすの実

10月21日(土)、11月7日(火)

各日14:00~14:30

1階ハイビジョンギャラリーにて

各日先着15名\*参加無料

### ■作品解説

①館長によるスペシャルトーク

11月12日(日) 企画展示室にて

②担当学芸員によるギャラリートーク

10月27日(金)、11月19日(日)

企画展示室にて

③担当学芸員によるスライドトーク

10月8日(日) 1階講堂にて

\*各回14:00から45分程度

\*①、②は当日有効の観覧券をご用意のうえ、  
直接会場へお集まりください。

## 同時開催

～まちだゆかりの作家～ 飯田善國(1923-2006)

9月27日(水)~12月24日(日) 常設展示室 入場無料

## 問い合わせ

町田市立国際版画美術館(〒194-0013 町田市原町田4-28-1)

展覧会担当/村瀬可奈(むらせかな)、広報担当/和南城愛理(わなじょうえり)

電話:042-726-0860 FAX:042-726-2840 メール:bunspo040@city.machida.tokyo.jp

一般の問い合わせ 町田市イベントダイヤル 042-724-5656